

回覧

有志の会検討状況（第2報）——町内会の在り方——

2025.12.29

町内会三役および事業を担う役員のなり手がいない人材難。町内会は存続の危機にある。役員、青年部、子供会および回覧の呼びかけに呼応した方など十数名（有志の会）で、主に次の2点についてフリー討議した。

- (1) R8年度に町内会を継続させる方策
- (2) 新たな人材を継続的に確保する方策

(1) 三役人材の確保

正副会長、総務、会計の三役が就任時の約束任期（3月）が迫り辞職又は辞意を表明。その後継者を探すこと、および事業を担当する役員の負担軽減策、が喫緊の課題である。会長とは継投して頂くための条件を調整している

- ・1年限定。行政対応などの涉外業務に専任し、町内会事業はやらない、など
- ・また 副会長、総務部長、会計の三役候補を推薦して頂いた
- ・事業部の新設も提案頂いた。町内各部は事業部の傘下に入り、事業部内で各部が協力し合い、事業を担当する部の負担荷を減らす

(2) 継続的な人材確保策

従来の一本釣り方式では後継者は見つからない
立候補制、相応の報酬を出すなども話題に上がったが、
「班から役員を出してもらう方策」が安定確保につながり有力。

- ・各班2名計10名。班長補佐、組長補佐から選ぶ方法もあり
- ・業務は地区レク、芋煮などの事業を各班で分担する。芋煮会のイメージ
- ・説明会などで理解を求める

課題

- ・会長継投条件の任期は1年。R9以降の体制をどうする
 - ・班選出役員に活躍してもらう方策
 - ・事業部制で負担は軽くなるか
- などの課題があるが、詳細を詰め切れないで、R8に走りながら詰めることとし、
- 1月31日(土)18時 臨時役員会を開き、R8の総会で町内会を継続するために最低限必要な事項を諮る
- 1月24日(土)18時 有志の会を開き、臨時役員会の議案を調整する。
- 皆さまご参加ください——

2025.12.29 文責 有志の会 初鹿将之